



神社の境内で火点に向かって放水を行う団員ら

## 文化財を火災から守る

### 大屋町大杉・二宮神社で消防訓練

「文化財防火デー（1月26日）」に合わせて1月29日、大屋町大杉の二宮神社で消防訓練が行われ、貴重な文化財の防火、防災対策について確認しました。

訓練は、消防団大屋方面隊と消防本部、地元大杉区の自主防災組織のみなさんら約60人と消防車4台が参加。二宮神社から出火し、付近の山林に延焼の恐れがあるとの想定で始まりました。発煙筒の煙が充満する中、谷川と防火水槽それぞれを水利としてホースを延長し、約20メートルの高低差のある境内まで中継放水して放水を行いました。大杉区の正垣区長は「大杉区では、今まで大きな災害がなく、このような訓練も行っていなかったので、よい防災啓発になりました」と話されていました。



## 多くのスキーヤーらで盛り上がる

### 氷ノ山国際スキー場でスノーフェスティバル

恒例の冬季イベント「氷ノ山国際スノーフェスティバル」が1月14日と15日、市営氷ノ山国際スキー場で開催されました。会場は、雪の感触を楽しもうと訪れた約1000人のスキーヤーらでにぎわいました。14日は、雨が降り続くあいにくの天候でしたが、恒例のチューブソリ大会には42人が参加。ゴムチューブにしがみつき、全長150メートルの特設コースで迫力ある滑走を満喫。同日午後には、先着400人に但馬牛の焼肉が無料で振る舞われました。

翌15日には、市内の子どもたちも多数参加したジャイアントスラローム競技や餅まき大会が行われ、同スキー場への誘客イベントとして、大変盛り上がった2日間となりました。



多くの方が参加した景品付き餅まき大会

## 災害についてみんなで学ぶ

### 八鹿小学校でオープンスクール

地域に開かれた学校づくりを進める「オープンスクール」が1月17日から3日間、八鹿小学校で開かれました。

阪神・淡路大震災から11年が経過した17日には、「いのちを考える会」と題して災害と命の尊さなどについてを学習しました。この日は、一昨年の台風23号で被災された市民の方を招き、児童らは真剣な表情で体験談に聞き入っていました。次に、6年生による学習発表がされ、地震のメカニズムや地震の種類、地震への備えについてなどを発表。発表した児童は「地震についてもっと調べて、被害が少なくなるようにしたいです」と感想を述べました。

その後、「1・17」を忘れないために6年生全員が「私たちが学んだことを、もっと伝えよう。もっと生かそう」と力強く述べました。



災害の体験談を聞く児童ら